

除雪現場の省力化による生産性・安全性向上を目指す

プラットフォーム『i-Snow』（第13回）を開催

～除雪機械の高度化を目指した産学官民連携の取組～

北海道開発局は、産学官民が連携して除雪現場の省力化に資する技術開発等に取り組む第13回プラットフォーム「i-Snow」を下記のとおり開催します。

今回は、令和4年度に一般国道38号狩勝峠で実施した、除雪作業の省力化に関する実証実験の結果報告や、令和5年度の取組などについて、情報共有・意見交換を行います。

近年、北海道内では、異常気象による暴風雪等の冬期災害が頻発する傾向にあり、長時間の通行止めが発生しています。そのため、第8期北海道総合開発計画（平成28年3月閣議決定）が掲げる「強靱で持続可能な国土の形成」の実現に向けた取組を関係者が連携し、より強力に推進していく必要があります。

他方、除雪作業に携わるオペレータ等の高齢化が進行するなど、担い手確保等の課題があることから、更なる除雪現場の効率化を図ることが求められています。

北海道開発局では、積雪寒冷地特有の地域課題の解決、地域発のイノベーションに向けて、北海道におけるi-Constructionの取組を進めており、その一環として、産学官民の幅広い連携を確保しながら除雪に関する課題の解決を図るためのプラットフォーム「i-Snow」を平成29年3月28日に発足し、これまでに12回のプラットフォームを行っています。

記

- 日時： 令和5年7月26日（水）13：30～
- 場所等： TKP札幌駅カンファレンスセンター3階ホール3C（札幌市北区北7西2-9）
及びWEB会議
- 次第： 別紙-1参照
- その他： 報道関係の方は会場またはWEB上での傍聴が可能です。なお、会場でのカメラ撮りは冒頭挨拶までとさせていただきます。希望される方は7月25日（火）12時までに、「hkd-ky-doui@ki.mlit.go.jp」までメールにて別紙-2のとおりご連絡ください。（WEBでの傍聴の場合はURLを送付いたします）
- 過去のプラットフォームの会議資料等は、以下のURLからご覧いただけます。
<https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/jg/gijyutu/splaat0000010dmm.html>

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

建設部 道路維持課 特定道路事業対策官 ながた なおき 長田 直樹（内線 5383）
事業振興部 機械課 課長補佐 やまぐち かずや 山口 和哉（内線 5391）



令和5年度 除雪現場の省力化による生産性・安全性の向上に関する取組 プラットフォーム『i-Snow』 < 第13回 >

日時：令和5年7月26日（水） 13：30～

次 第

I. 開 会

II. 挨拶 国土交通省 北海道開発局 建設部 道路維持課長 林 華奈子

III. 事務局報告及び提案

1. プラットフォームメンバー・オブザーバーの紹介

IV. 関係機関の取組状況等

1. 令和4年度の実証実験結果、令和5年度の取組 [資料A]
(除雪機械の高度化推進グループ)

2. ロータリ除雪車の自動化開発の状況 [資料B]
(NEXCO東日本(株))

3. CLAS 受信機の最新動向 ～AQLOC-Light の次機種情報～ [資料C]
(一財)宇宙システム開発利用推進機構)

4. その他の情報提供

・LiDAR 計測による除排雪業務効率化と生産性向上のチャレンジ
～降雪地でのモノづくり最前線を快適にする～ [資料D]
(一二三北路(株))

・ICT・GIS サービスを用いた冬季道路管理
～皆で知識ゼロから始める ICT 活用～ [資料E]
(株)玉川組)

・PRISM 堀口組コンソーシアム『雪国の除雪作業を変える AI/IOT 革命』
[資料F]
(株)堀口組)

V. 総 括

VI. 閉 会

送付先 : hkd-ky-doui@ki.mlit.go.jp

件名 : 【傍聴希望】 i - S n o w (第 1 3 回) 傍聴申込み

**本文 : 氏名 (ふりがな)、所属、連絡先、「会場」または「WEB」
の別を記載願います。**

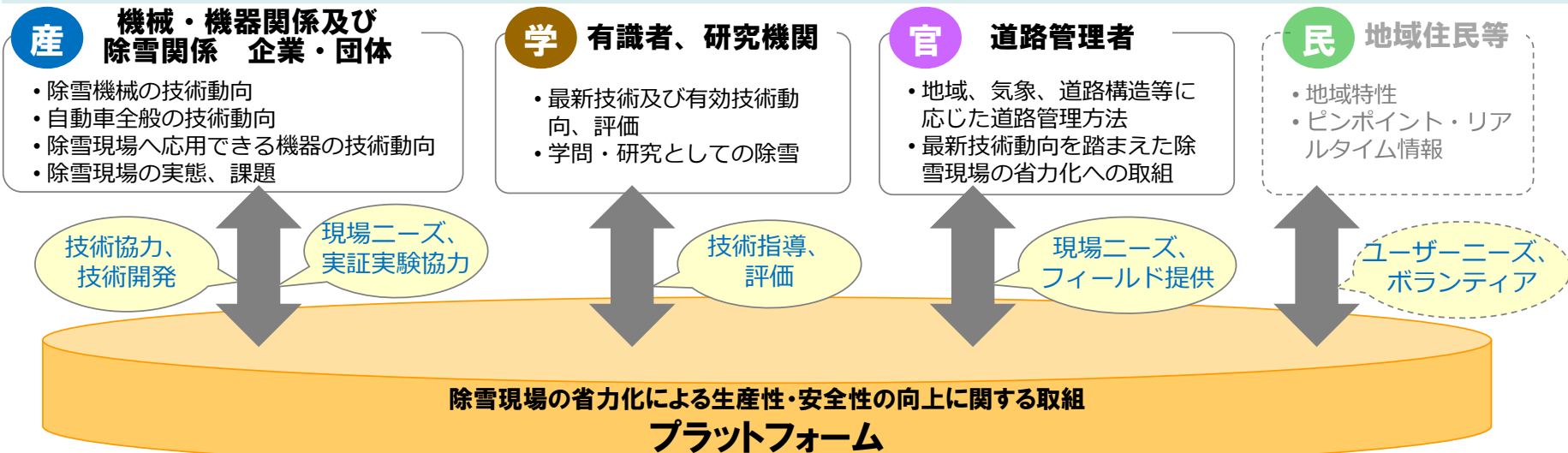
※令和 5 年 7 月 2 5 日 (火) 12 時までにお申し込みください。

※WEB 上での傍聴希望の方には会議 URL を送付します。

※ご記入頂いた個人情報は、本プラットフォームの開催に関する連絡以外では使用しません。

【持続可能な道路除雪に向けた取組 ～i-Snow～】

- 第8期北海道総合開発計画（平成28年3月29日閣議決定）がスタート
- 積雪寒冷地特有の地域課題の解決、地域発のイノベーションに向けて、北海道におけるi-Constructionの取組として、除雪現場の省力化に向け、**産学官民が幅広く連携して取り組むプラットフォーム【通称 i-Snow】**を形成



※目的や必要性に応じて、「取組グループ」や「コンソーシアム」の形成も可能（平成31年2月15日 第4回i-Snowにて規約改正）

- 第1回 i-Snow：平成29年 3月28日
- 第2回 i-Snow：平成29年 9月29日
- 第3回 i-Snow：平成30年 3月28日
- 第4回 i-Snow：平成31年 2月15日
- 第5回 i-Snow：令和元年 6月26日
- 第6回 i-Snow：令和元年12月12日
- 第7回 i-Snow：令和 2年 6月25日
- 第8回 i-Snow：令和 2年12月 9日
- 第9回 i-Snow：令和 3年 7月27日
- 第10回 i-Snow：令和 3年12月13日
- 第11回 i-Snow：令和 4年 7月26日
- 第12回 i-Snow：令和 4年12月13日

『産』

(一社) 日本建設機械施工協会、
(一社) 建設コンサルタント協会、
アイサンテクノロジー(株)、
(株)NICHIGO、(株)協和機械製作所、
(株)岩崎、(一財) 宇宙システム開発利用推進機構
SoftBank株式会社 (ALES (株))

『学』

北海道大学 大学院工学研究院 萩原教授
北海道大学 大学院農学研究院 野口教授
国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所

『官』

北海道開発局 (道路、機械、空港)
北海道、札幌市、NEXCO東日本

除雪現場の省力化による生産性・安全性の向上に関する 取組プラットフォーム構成員

<有識者>

北海道大学 大学院工学研究院 萩原 亨 教授

北海道大学 大学院農学研究院 野口 伸 教授

<行政機関>

国土交通省 北海道開発局

東京航空局

北海道

札幌市

<研究機関>

国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所

<関係団体等>

東日本高速道路株式会社 北海道支社

一般社団法人 日本建設機械施工協会北海道支部

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会北海道支部

一般財団法人 宇宙システム開発利用推進機構

株式会社 NICHIGO

株式会社 協和機械製作所

株式会社 岩崎

アイサンテクノロジー 株式会社

SoftBank 株式会社 (ALES (株))